

平成26年度

平成26年4月30日

# 学校だより



夢に近づけ 今、鴨居がいいかも！  
横浜市立鴨居小学校



電話 045(931)2062

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kamoi/>

## 一生懸命はカッコいい

校長 大森 英司

若葉萌える季節となった。鴨居原市民の森愛護会の方に頂いたカブトムシの幼虫もうごめきでした。成虫となって顔を出すのが楽しみだ。

児童は運動会に向けて燃えている。校庭からは全力で駆け抜ける児童に送られる大きな声援が聞こえる。リレー、応援団、鼓笛隊・・・花形である。しかし、これだけでは運動会は成立しない。一人ひとりが、一つひとつの役目を達成することによって、感動を呼ぶ。どの競技も、どの演技も、一生懸命はカッコいい。委員や係の活動も、一生懸命はカッコいい。

意欲あふれる児童は、「鼓笛隊ではあの楽器をやりたい」、「リレーの選手になりたい」、「今年こそ応援団をやってみよう」と思っていたに違いない。しかし、残念ながら人数に限りがあって、希望がかなわなかった児童も多いと思う。なれなかったからといって、やる気を損なわず、巡り合った場所で輝いてほしい。

教え子のK君の話をしてほしい。

野球センス抜群の彼は、甲子園を夢見て横浜高校に進んだ。3年生の夏、横浜高校は甲子園に出場したが、2年生の時に腰を痛めたK君はベンチ入りできる16人には入っていなかった。背番号をもらえなかったのだ。

横浜高校は2回戦から登場し、その試合では、ユニフォームを着てスタンドで応援する姿をテレビ画面の中に発見した。ところが、3回戦ではベンチの中で監督の横にいる彼を見つけた。ポロシャツに制服のズボン姿で記録員としてベンチ入りしていたのだ。

大会後、報告にきてくれた彼にベンチ入りのいきさつを聞いた。

「監督に『入れ。』って、言われて断ったんですけど、『お前には入る価値があるから、入れ。』って、言われて・・・。」

なんでも、腰を痛めてレギュラーをあきらめざるをえなくなったあとも、懸命にトレーニングに励むとともに、裏方の仕事を黙々とこなしたそうだ。そんな彼を渡辺監督は評価して、1試合だけベンチに入れてくれたのだ。

故障の後も、できることを精一杯行ったK君も立派だが、ベンチに入れた渡辺監督もさすがだと思う。

やはり、一生懸命はカッコいい。今年も運動会が楽しみだ。

